

## 市民意見・関係者ヒアリング結果について(経過報告)

### 1. 市民から寄せられたご意見

- 令和5年4月24日から令和5年5月31日まで、(仮称)国際センター駅北地区複合施設基本構想(中間案)に対し、意見募集(パブリックコメント)を実施した。詳細については資料3-2を参照。

### 2. 市内演劇関係者へのヒアリング

- 主に市内で活動している演劇関係者らにヒアリングを実施し、複合施設に求めることや、検討を進める上で重視すべきことなどを伺った(参加者19名)。

#### 【主なご意見】

- ・立地が良いため使いたいが、200~300㎡でバトンの昇降ができる演劇向きの部屋がほしい。
- ・設備を気軽に組み替えられるような仕様となっていることが望ましい。
- ・メモリアルとの融合を考えると、語り部の場や震災をテーマにした演劇を上演できる小さな空間がほしい。
- ・300~500席のホールができると、舞台面などの仕様にもよるが、劇団のツアーなどは受け入れやすくなるのではないか。
- ・施設を運営する人たちが利用者に寄り添ってくれると嬉しい。異動で頻繁に人が変わるようなことがなく、ノウハウを教えてくれたりサポートしてくれたりする人がいると信頼が持て、若手も安心して参入できる。
- ・音楽ホールに無理に演劇仕様を盛り込むよりも、IO-BOXなどの事業費を厚くしてもらった方が良いのではないか。
- ・クラシックやオペラ、バレエなどは、今後はあらゆる文化芸術の分野と連携していかないと新たな顧客の獲得は難しい。次の世代の市民にどんな芸術に触れてほしいのかを、文化芸術推進基本計画も含めて考えていく必要がある。
- ・社会包摂の視点で言えば、広場空間は静かにしなくても安心していられるようにしてほしい。障害をもった人の中には突然大声をあげるような人もいる。音を立てることを許容されるようであれば、そういった人々がそこに行けなくなる。
- ・ひろびろトイレは充実させてほしい。
- ・「誰でも」が使える施設を目指す上では、様々な分野の専門家と連携してアートセンターのような機能を持つと、初めて活動しようとする人にとっても敷居が低くなる。
- ・複合施設の活動を考えるうえで、震災後に始まった「芸術飛行船」(文化芸術による子供の育成事業-芸術家派遣事業)の存在がひとつのモデルになると考える。今後、国の補助金が今後にわたり継続する保証はないため、複合施設のプレ事業として市の予算で継続していくことが望ましい。